



上島町消防団
夏季幹部講習会

7月23日(日)、上島町消防団幹部と入団2年以内の団員を対象とした上島町消防団夏季幹部講習会を実施しました。今回の講習会は、公営住宅等の耐火建物火災の対応を主眼として、主に『耐火建物に対する消防戦術について』の講習と『訓練塔を使用した実技訓練』を行いました。参加団員は、今後の活動に活かせるように、真剣な眼差しで講習と実技訓練に臨んでいました。



講習会の様子



実技訓練の様子

平成29年7月出動件数

地区	弓削	生名	岩城	魚島	合計	H29累計
火災	0	0	0	0	0	3
救急	15	7	9	7	38	274

(平成29年7月31日現在)

【上島町消防署】☎77-4118

7月21日(金)、徳島県消防学校において第46回消防救助技術四国地区指導会が開催され、当消防本部から4名の隊員が参加し、開会式では濱田消防士長が愛媛県隊の旗手を務めました。競技では、陸上の部(ほふく救出)に中本消防副士長、檀上消防士、村上消防士が出場し、日頃の訓練の成果を十分に発揮することができ、見事入賞を果たしました。今後も、救助技術や体力の向上を図るとも



に、迅速かつ安全確実な現場活動が行えるように訓練を積み重ねていきます。

第46回消防救助技術四国地区指導会

救助技術の向上を目指して

ほふく救出って
どんな競技?



空気呼吸器
着装!

脱出用ロープ
作成!



この種目は、3人1組(要救助者を含む)で、1人が空気呼吸器を着装して長さ8mの煙道内を検索し、要救助者を屋外に救出した後、2人でゴール地点まで搬送する訓練種目です。

8mの煙道内を検索し
要救助者を屋外に救出!



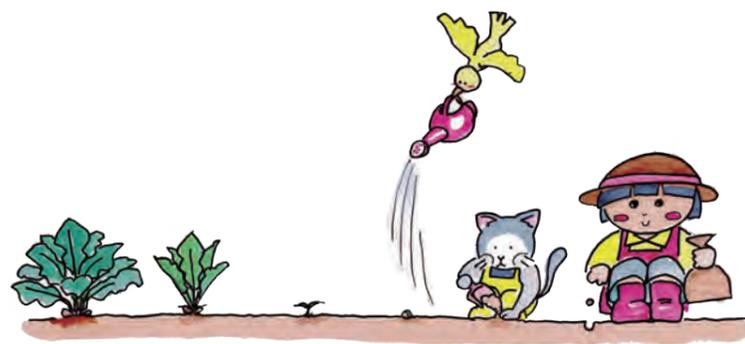
ゴールまで
要救助者を搬送!



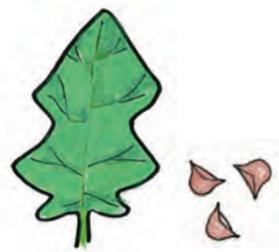
しまなみ
農業だより

ホウレンソウ

ホウレンソウは寒さに強い野菜で、多少日当たりが悪くても丈夫に育ち初心者にお勧めの葉野菜です。今回はホウレンソウの栽培のポイントについて解説します。



品種



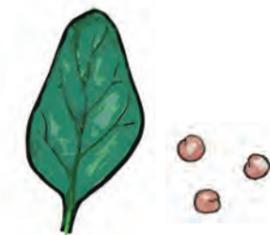
東洋種

葉の形はギザギザ(剣葉)。葉の色や厚みは薄い。葉の元や根は濃い赤色。土臭さは少ない。種は角ばってトゲがある。「とう立ち」しやすいので秋まきに向く。



交雑種

東洋種と西洋種の交配によって育成された品種。生育が早く、葉に厚みがあって、収量が多い。「とう立ち」しにくいものが多い。



西洋種

葉の形は丸い。葉の色が濃く、厚みがある。葉の元や根は薄い赤色。土臭さが強い。種は丸い。「とう立ち」しにくいので春まきに向く。

※とう立ち とうは花を咲かせる茎のことで、花茎が伸びることを「とう立ち」または、「抽苔」といいます。ホウレンソウは昼の時間が長くなると「とう立ち」する性質があります。

作型	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
春まき			●	■								
秋まき								●	■			
冬まき										●	■	

(●種まき、■収穫)

栽培管理

栽培のポイント

- 生育適温は15～20℃で、夏の暑さを嫌います。
- 栽培時期に合わせた品種を選びましょう。
- 土の好適酸度はpH 6.3～7.0で、酸性を嫌います。
- 乾燥しやすいところ、排水の悪いところは栽培に適しません。

●収穫
草丈22～25cmで収穫しま

●間引き
本葉が2～3枚になった頃に株間が3cm程度になるように間引きます。

●種まき
60～70cmのベッドに、支柱などを押し当てて3本のまき溝をつくり、その溝に2～3cmおきに一粒ずつ種をまき、薄く土をかぶせます。

●土づくり
種まき7～10日前に10㎡あたり、完熟堆肥20kg、苦土石灰1kg、化学肥料800gをまいてよく耕します。

す。葉が折れやすいので、株元の土を押しさえ株全体をもってひき抜き、根を切り取ります。

